



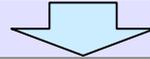
2009年3月期 第2四半期決算説明会



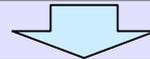
2008年10月31日
株式会社 豊田自動織機

世界経済の現状認識

■ 実体経済以上の資金供給

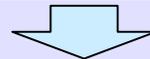


■ 金余り 投機へ



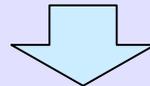
■ 投機による市場のバブル化

・原油 ・金属 ・穀物 ・住宅 など



■ サブプライム問題

リスク算定ができない

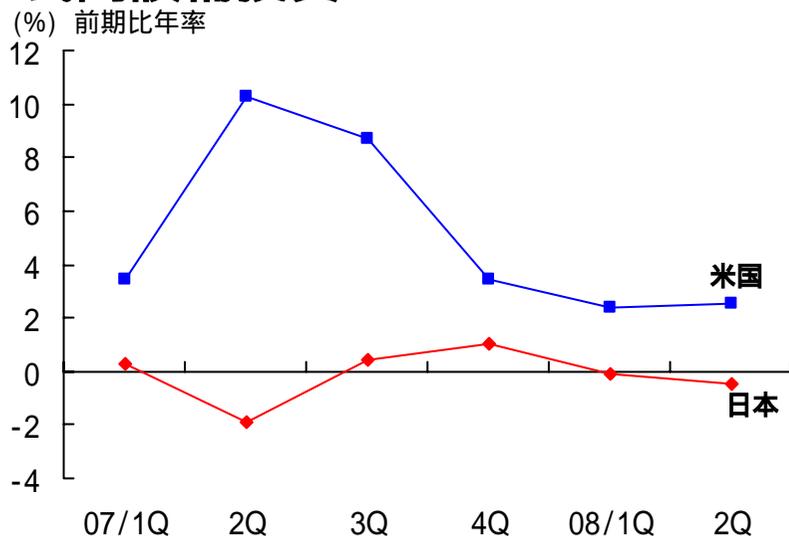


■ 金融危機

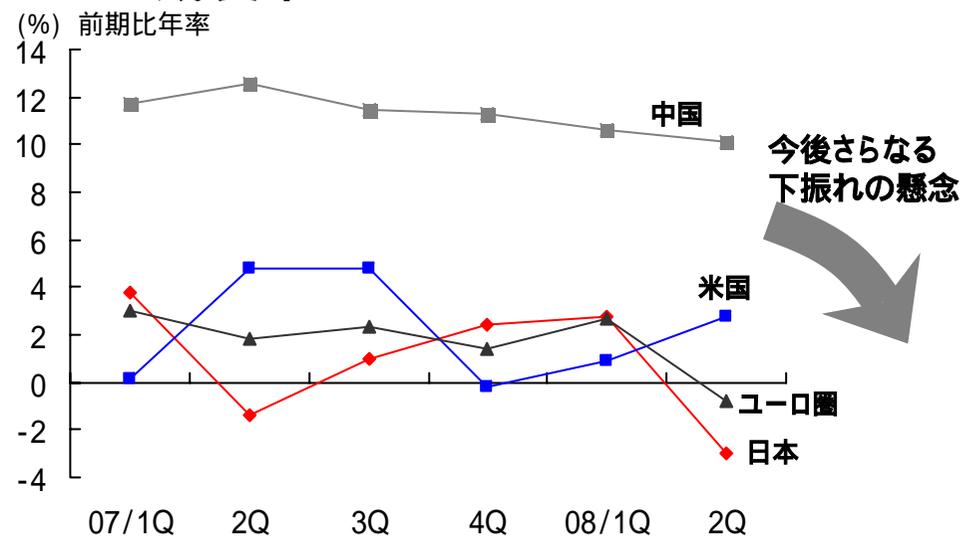
信用収縮

実体経済への影響

■ 民間設備投資 (出所)内閣府、米国商務省



■ GDP成長率 (出所)内閣府



- G7 合意 (10月10日)
 - G20 声明発表 (10月11日)
- ↓
- 各国公的資金注入を表明
・英国、ドイツ、フランス、米国など

- 金融市場
 - 株式市場
-
- 実体経済

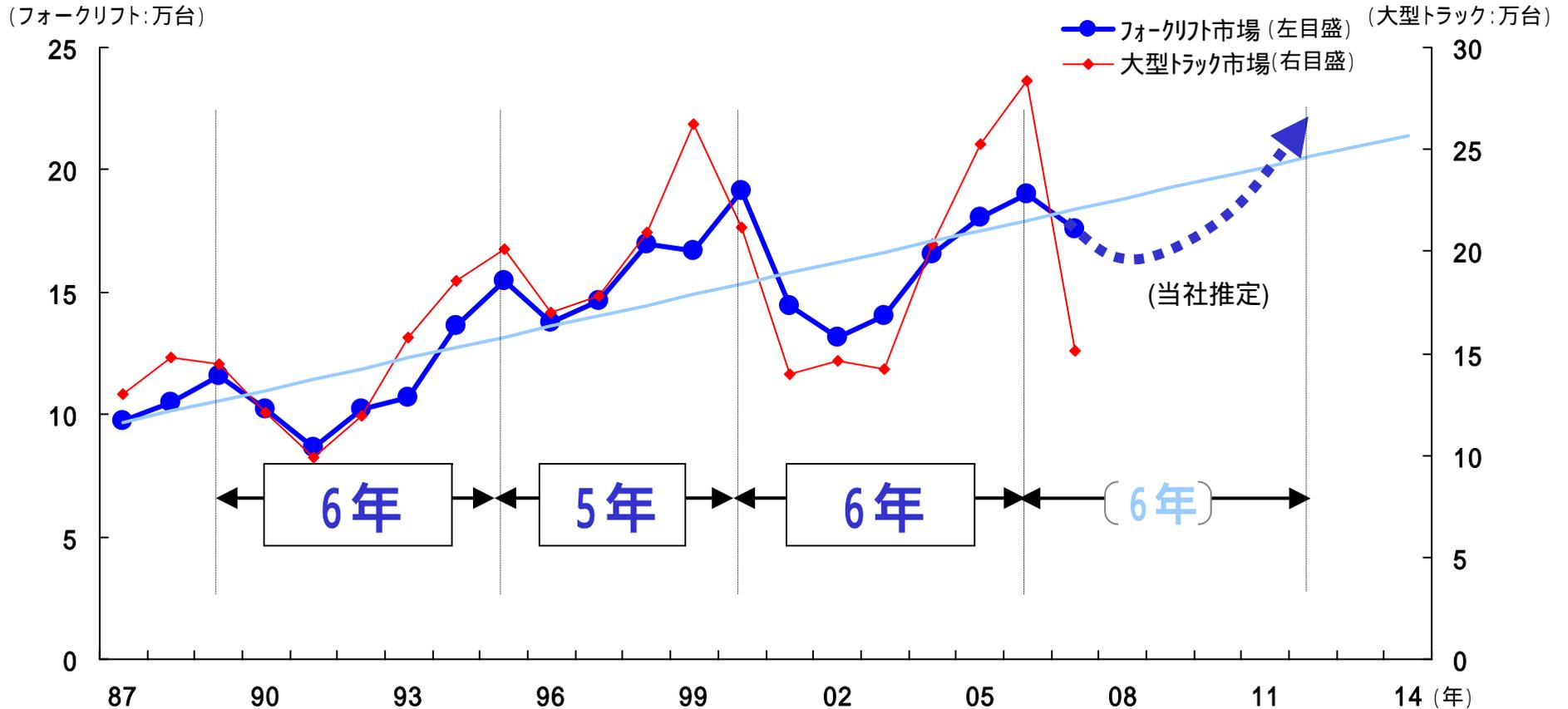
2年以内の
正常化を期待

5年以内の
正常化を期待

フォークリフト市場の動き

米国 フォークリフト市場

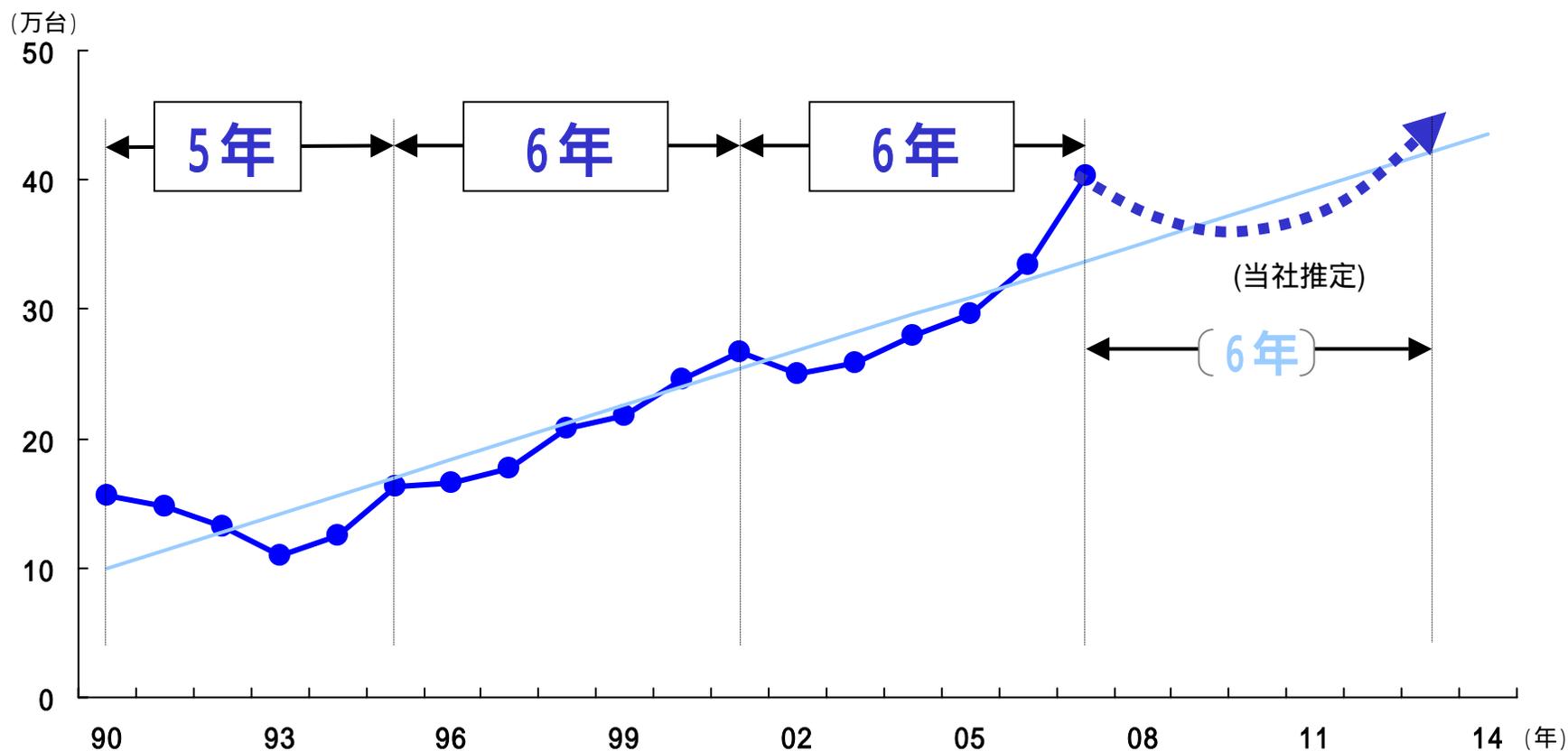
(出所) ITA, AAMA



- 人口や物流量の増加により、長期トレンドで増加
- 過去の市場変動の周期は5～6年で、ピーク後は1～2年下落(最大約3割)

欧州 フォークリフト市場

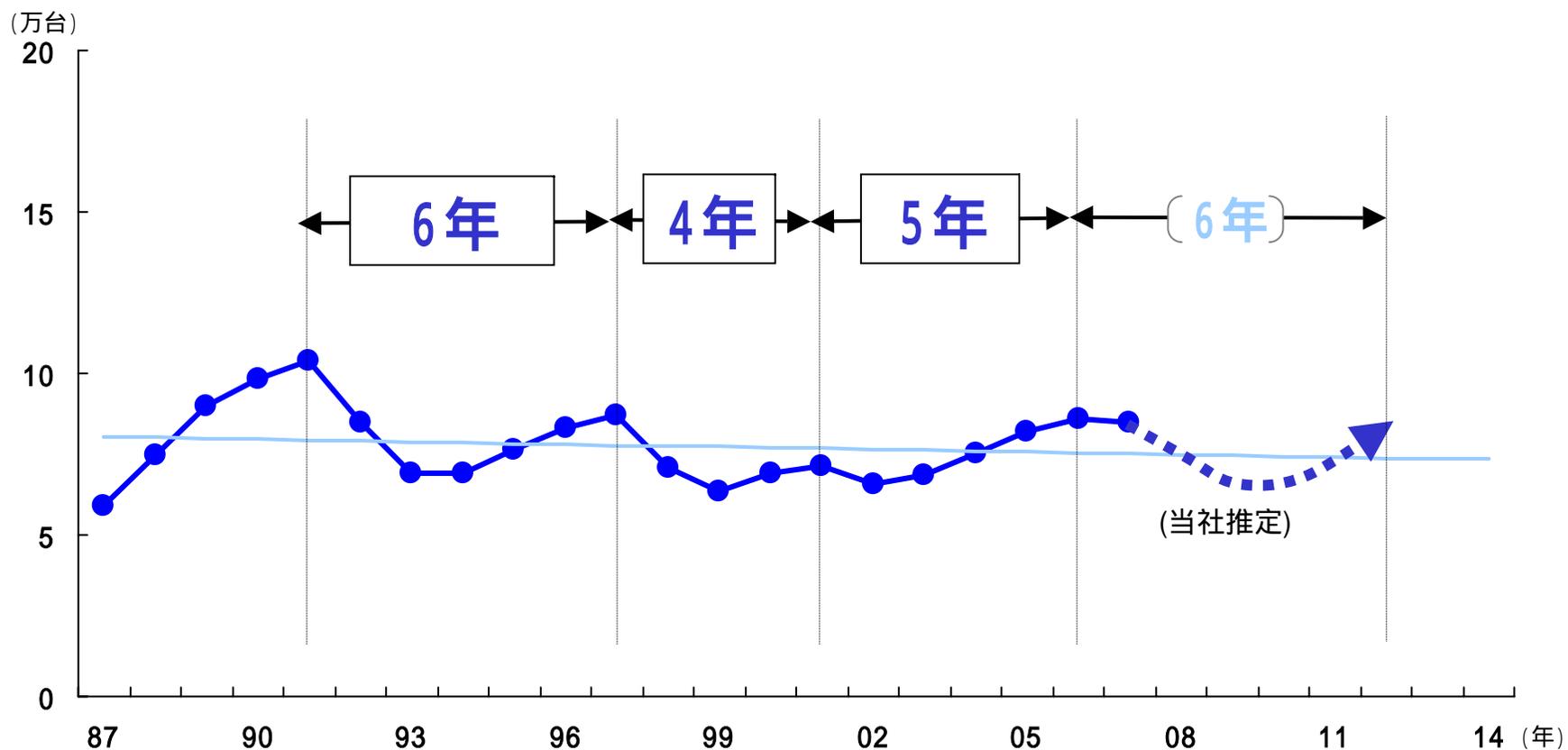
(出所) FEM、WITS



- 欧州市場が旧東欧・ロシアに拡大
- 過去の市場変動の周期は5～6年で、ピーク後の落ち込みは小さい

日本 フォークリフト市場

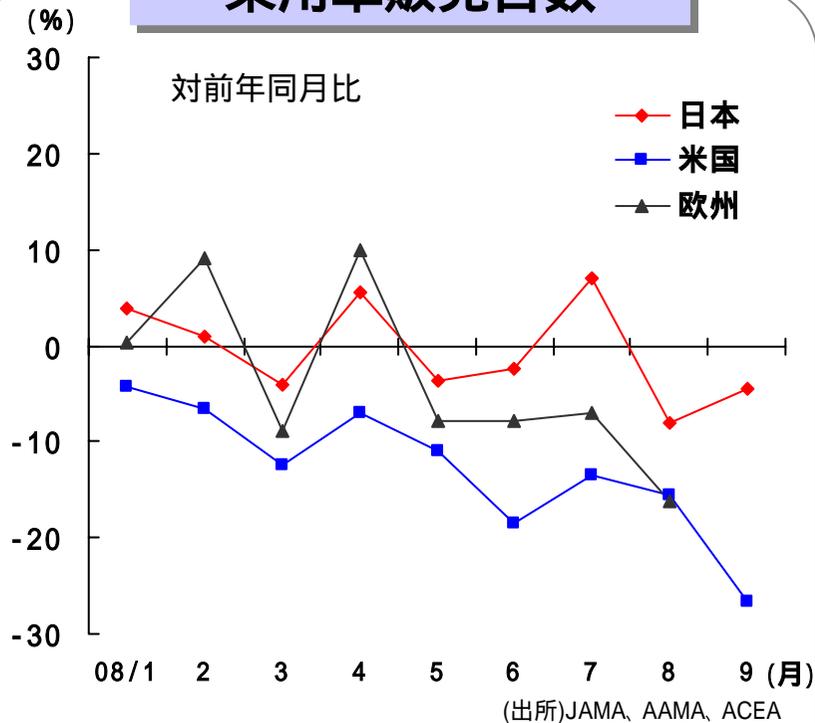
(出所) JIVA



過去の市場変動の周期は4～6年
●ほぼ横ばいで推移

自動車市場の現状認識

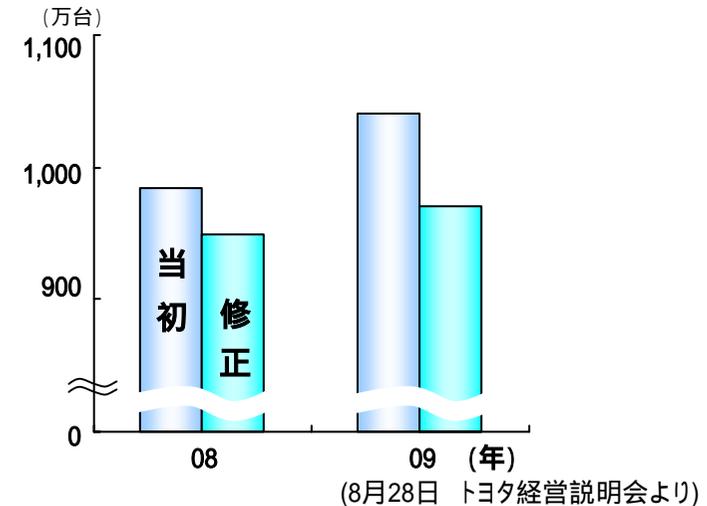
乗用車販売台数



マイナス幅が拡大

トヨタ 販売計画

- 北米生産体制の再構築策を発表 (7月10日)
- 販売計画を見直し (8月28日)



トヨタは販売計画を下方修正

当社自動車事業においても厳しい状況

再度、足元をしっかりと固める

今は嵐の真っ只中

→ この先2年は続く

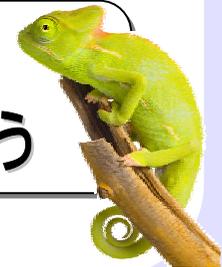


嵐の中ではじたばたしない・・・

- 時代が変わった！
- 既成概念にとらわれず
白紙から！

“やるべきこと”を、
愚直に地道に徹底的に行う

アンテナを高く張り、
チャンスを狙う



成長の芽を育てる

- 車両、エンジン、コンポーネント(コンプレッサー、カーエレクトロニクス)の「自動車 全体」を営む技術の蓄積
- バッテリーフォークリフトで培った電動に関する技術・ノウハウ

		要素技術					
		軽量化	熱制御 (放熱・冷却・燃焼)	充電・給電	エネルギー制御	省エネルギー	ものづくり
自動車	車両 						
	エンジン 						
	カーエレクトロニクス 						
	コンプレッサー 						
産業車両 							

要素技術の融合をはかる



市場の動向

成長に向けて

自動車

要素技術
の融合



産業車両



繊維機械



環境

電動化

H V

P H V

E V

F C V

クリーンディーゼル
エンジン

人口増による
繊維消費量の
増加

▶ 「サステナブル・モビリティ」実現に向けた 技術提案と開発、ものづくり

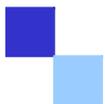
- ポティ、部品の軽量化
- 車全体での熱制御
- システムとしての充電・給電
- クリーンディーゼルエンジンのシリーズ化

▶ 世界NO.1メーカーの強みを活かし市場をリード

- 先進的なキーコンポーネントの開発とシリーズ化
- お客様ニーズの的確な把握と
商品、ソリューションへのフィードバック

▶ 新市場(中央アジア、インド等)の開拓

- エアジェット織機の生産性、操作性、
織物品質などのアピール



決算報告

2009年3月期 第2四半期連結累計期間実績

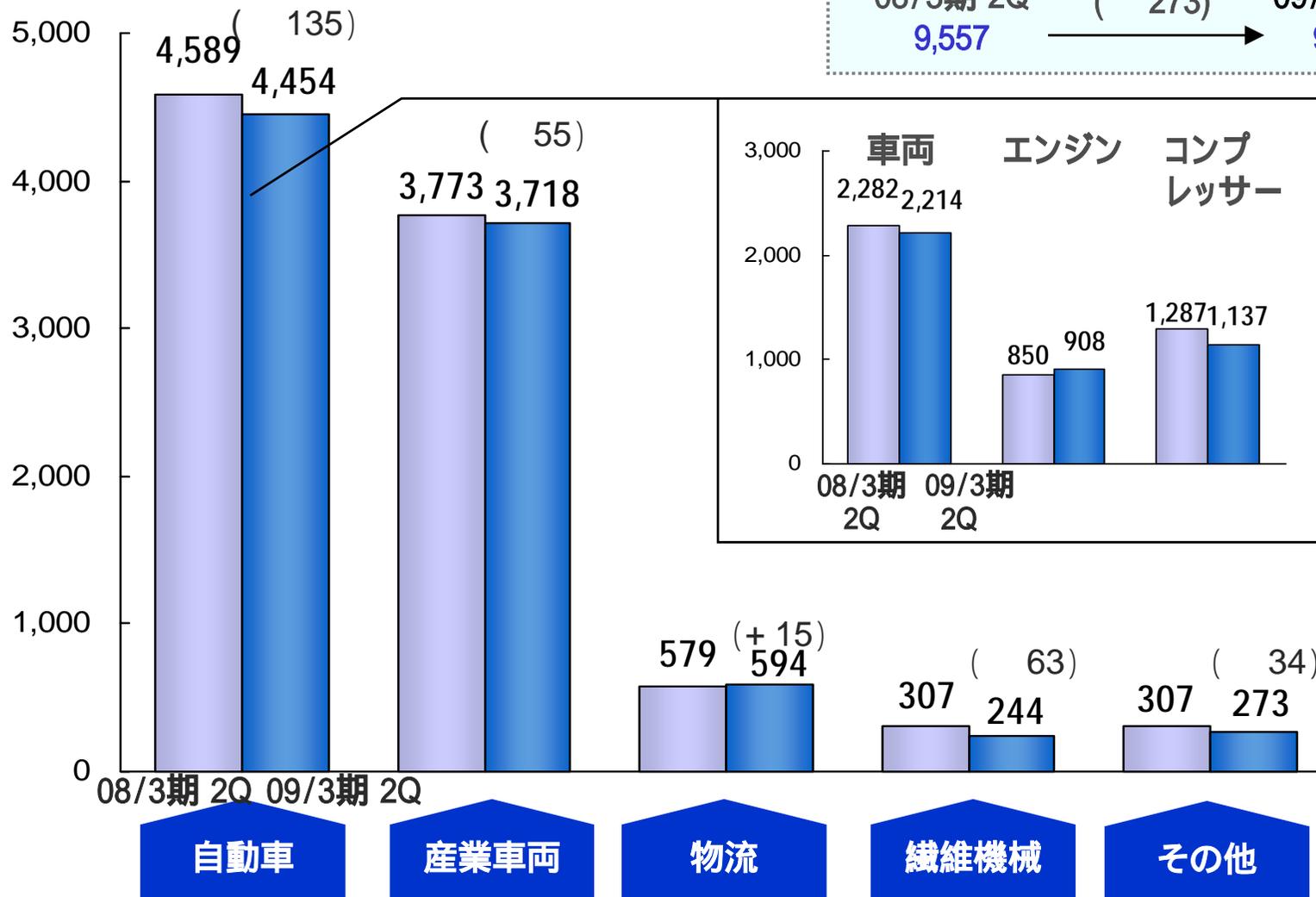
■ 外部環境の激変により、減収・減益

(億円)

	08/3期2Q 累計	09/3期2Q 累計	増減	増減率
売上高	9,557	9,284	273	2.9%
営業利益	469	229	240	51.1%
経常利益	632	403	229	36.3%
純利益	403	235	168	41.7%

■ 物流を除くすべてのセグメントで減収

(億円)

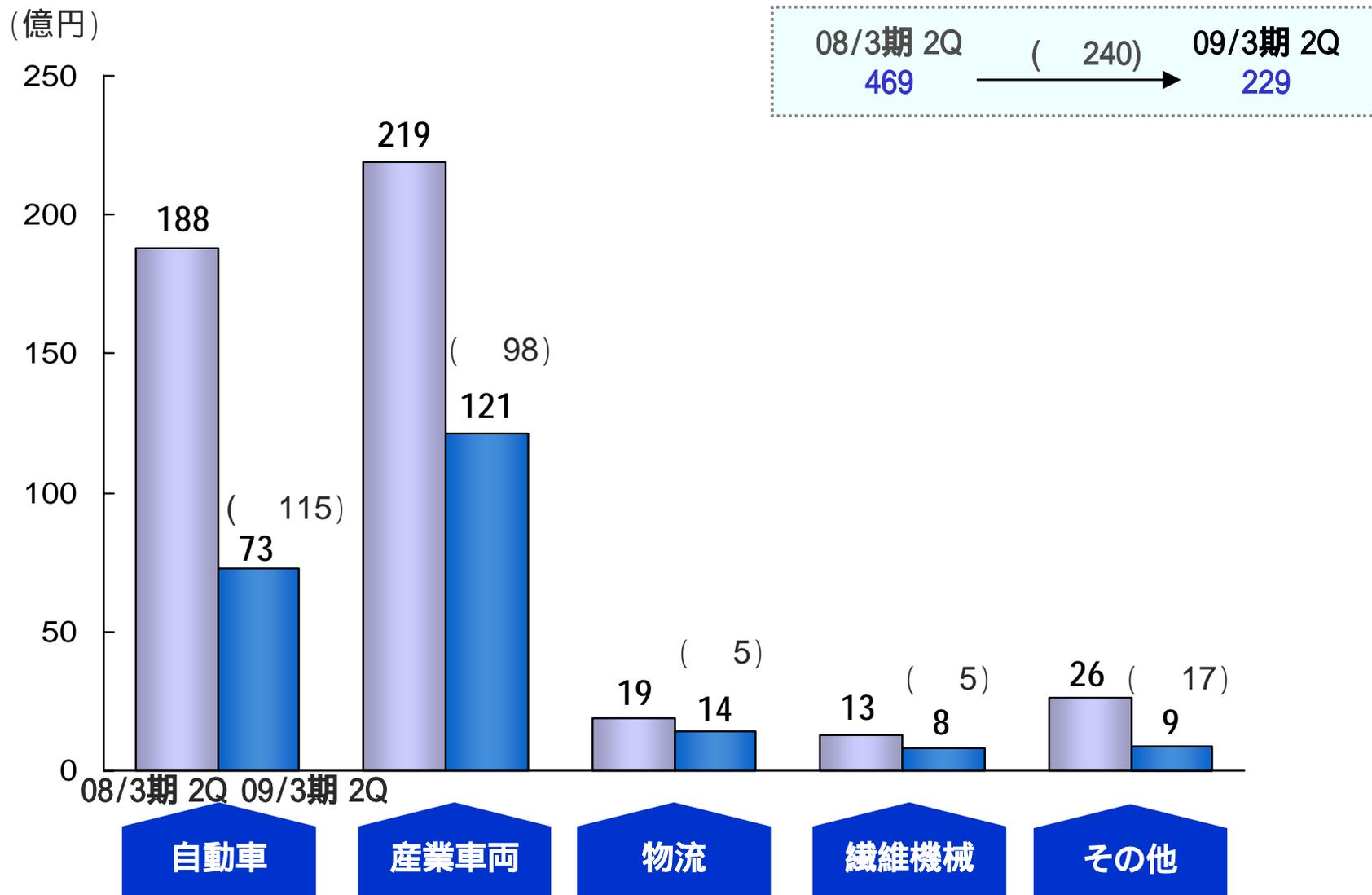


08/3期 2Q (273) 09/3期 2Q
 9,557 → 9,284

事業別セグメント営業利益

2009年3月期 第2四半期連結累計期間実績

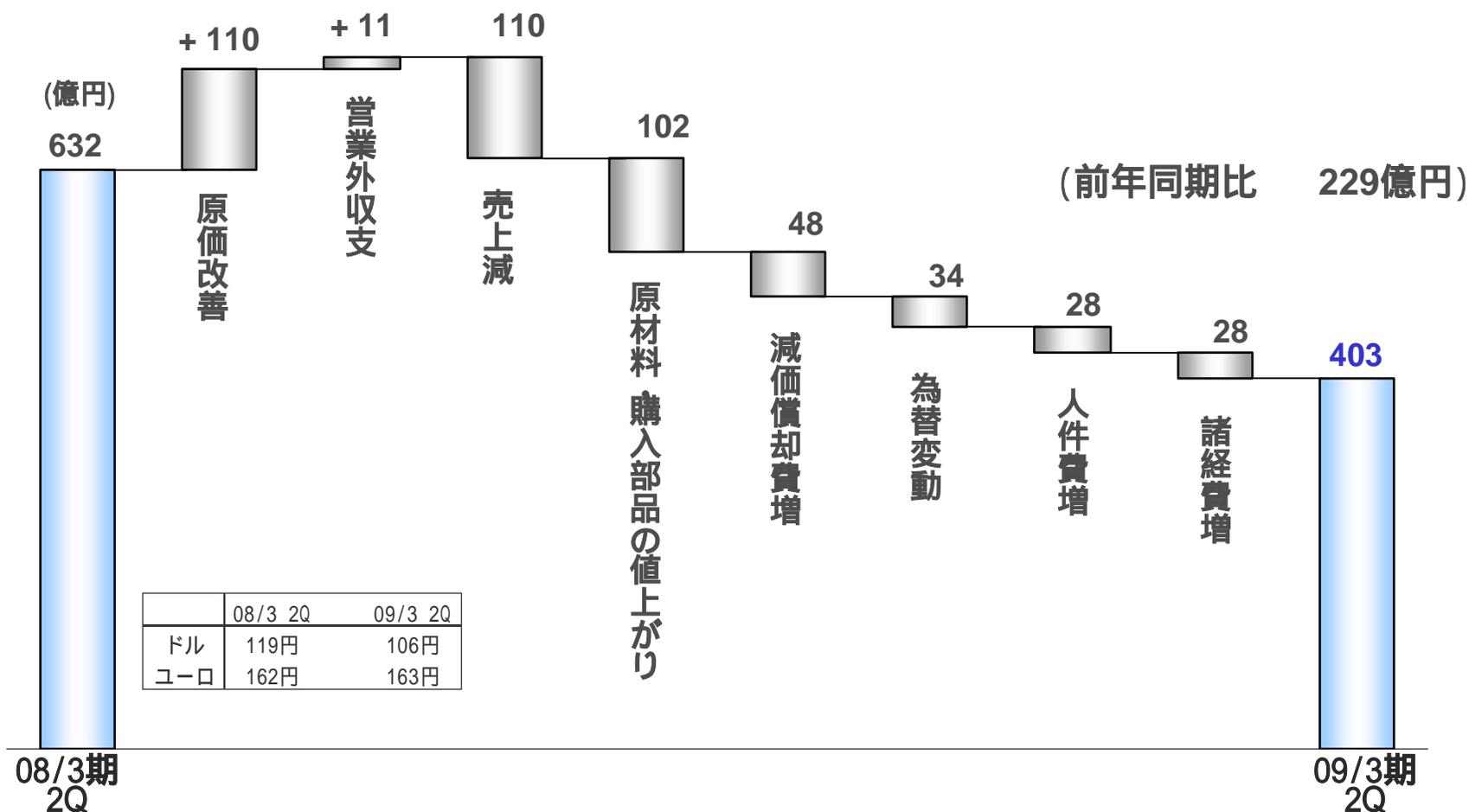
■ 自動車、産業車両のセグメントで大きく減益



経常利益の増減要因

2009年3月期 第2四半期連結累計期間実績

(08/3期2Qと09/3期2Qの比較)



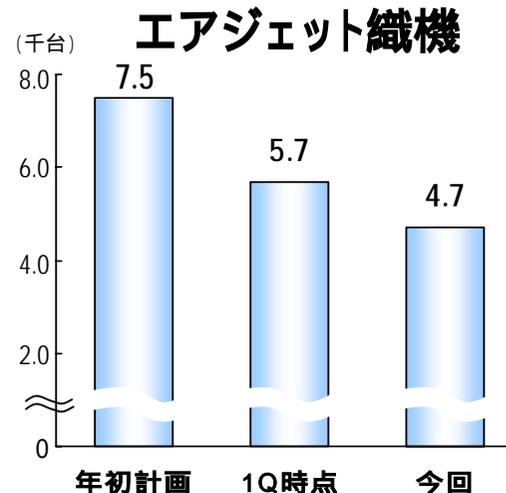
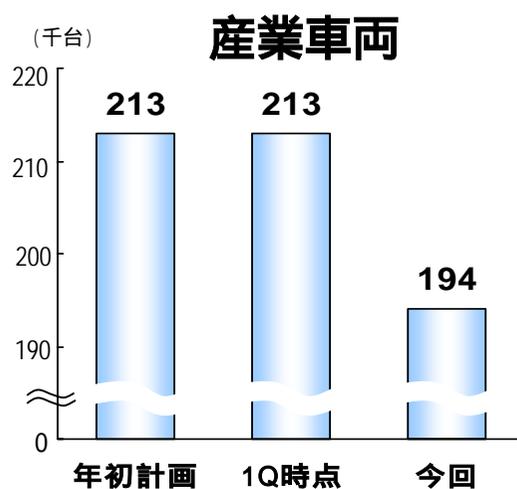
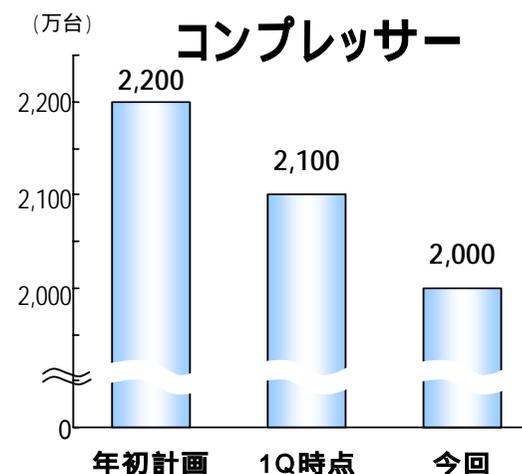
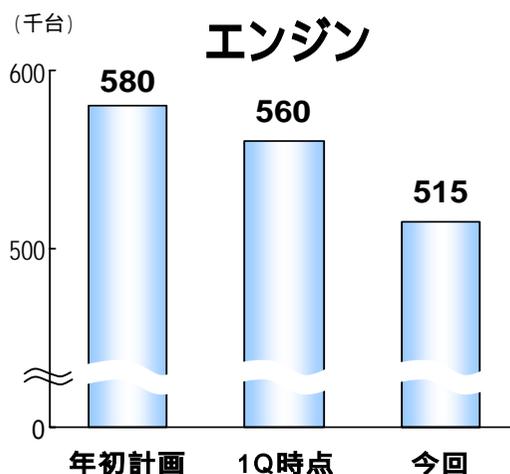
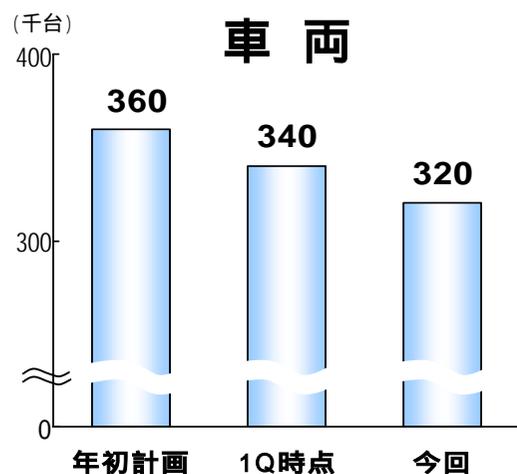
2009年3月期 決算予想

■ 市場の一層の冷え込みにより、決算予想を下方修正 (億円)

	08/3期	(1Q時点) 09/3期 予想	増減	増減率
売上高	20,005	(20,000) 18,200	1,805	9.0%
営業利益	968	(650) 400	568	58.7%
経常利益	1,264	(970) 700	564	44.7%
純利益	804	(530) 400	404	50.3%

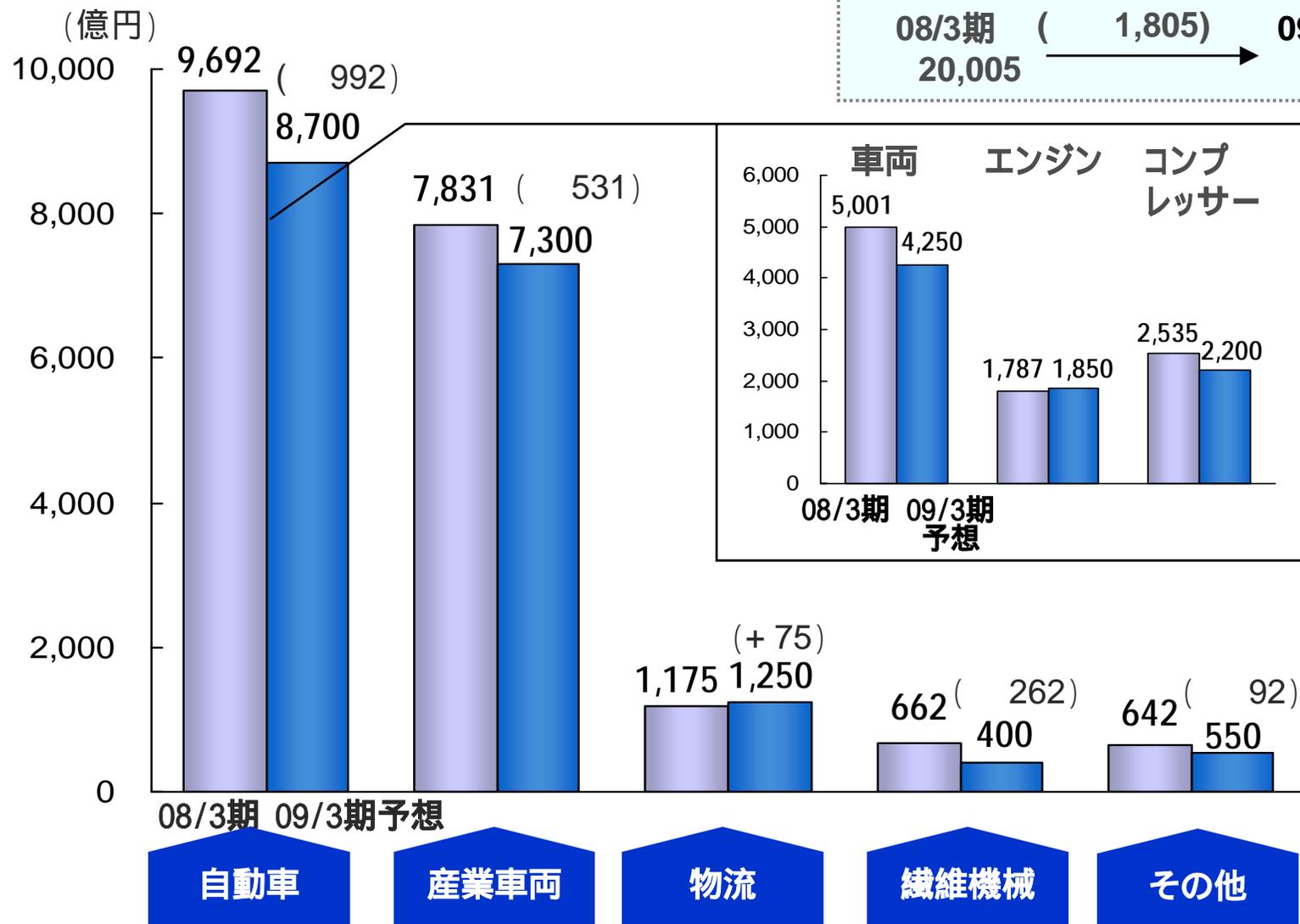
当社販売台数の年初計画からの変化

■ 市場の減退を受け、当社販売台数を下方修正



事業別セグメント売上高

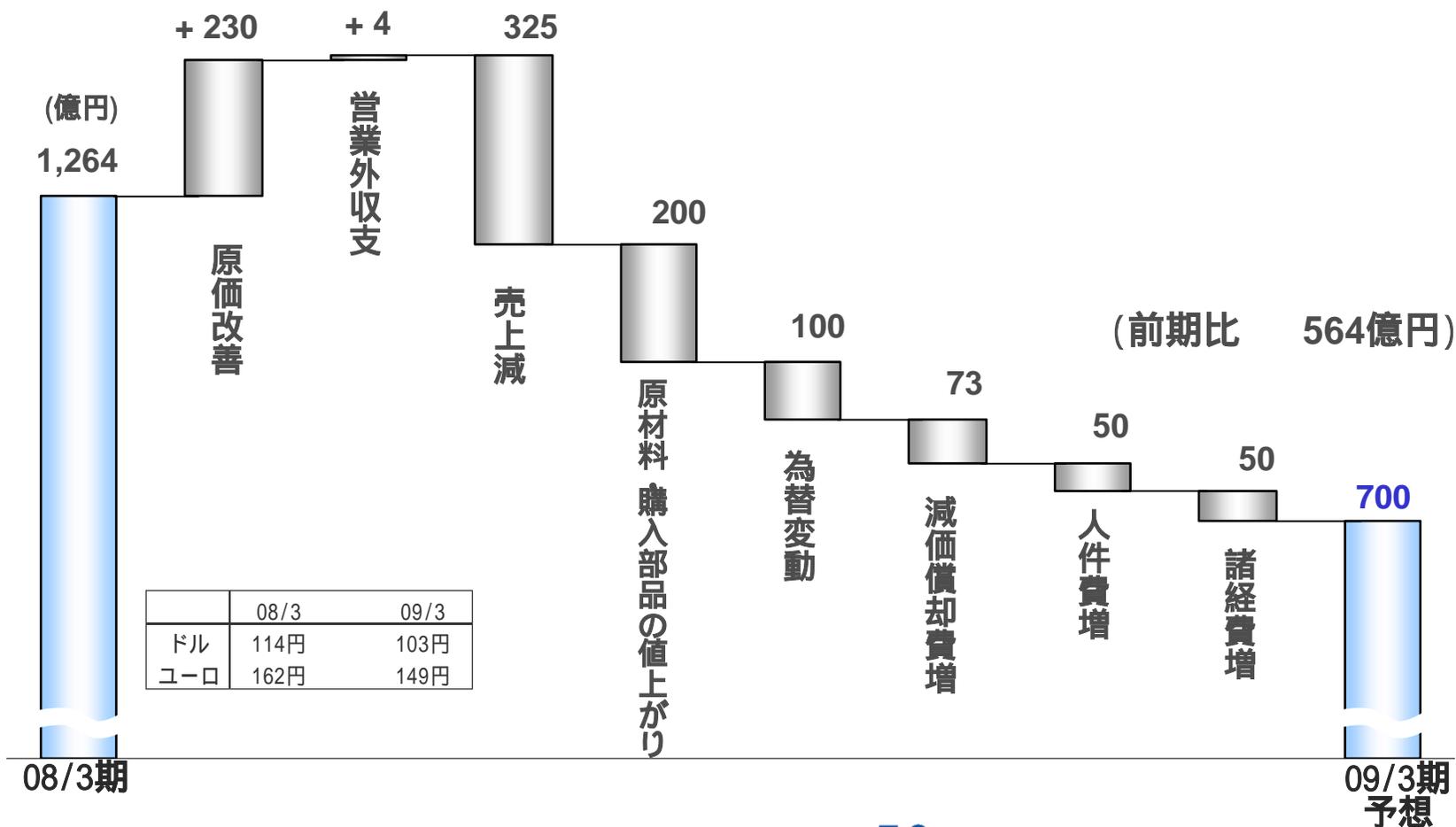
2009年3月期 通期予想



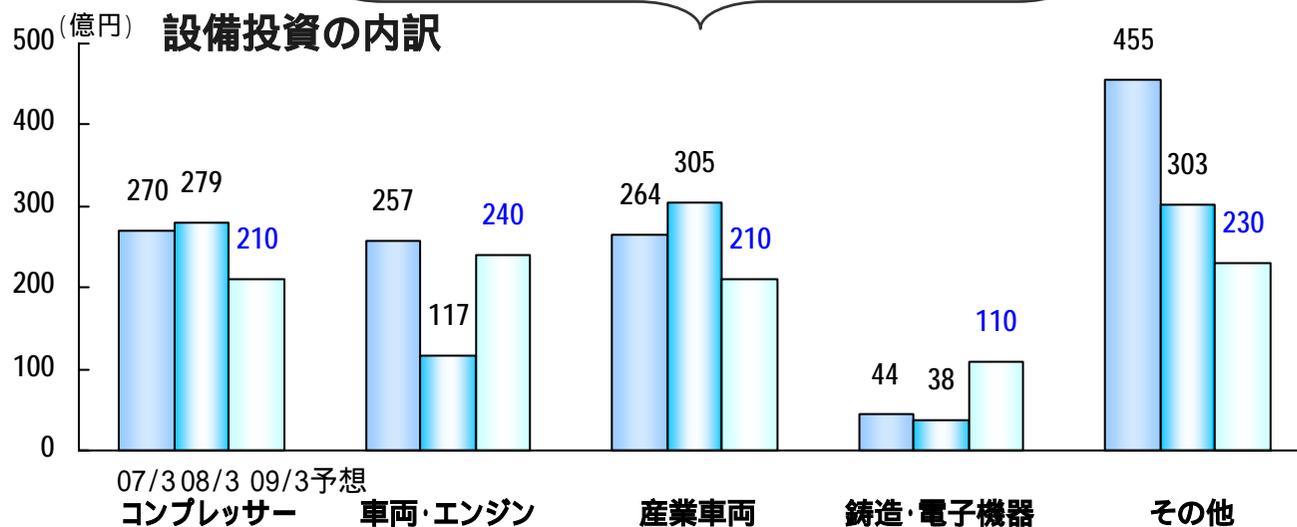
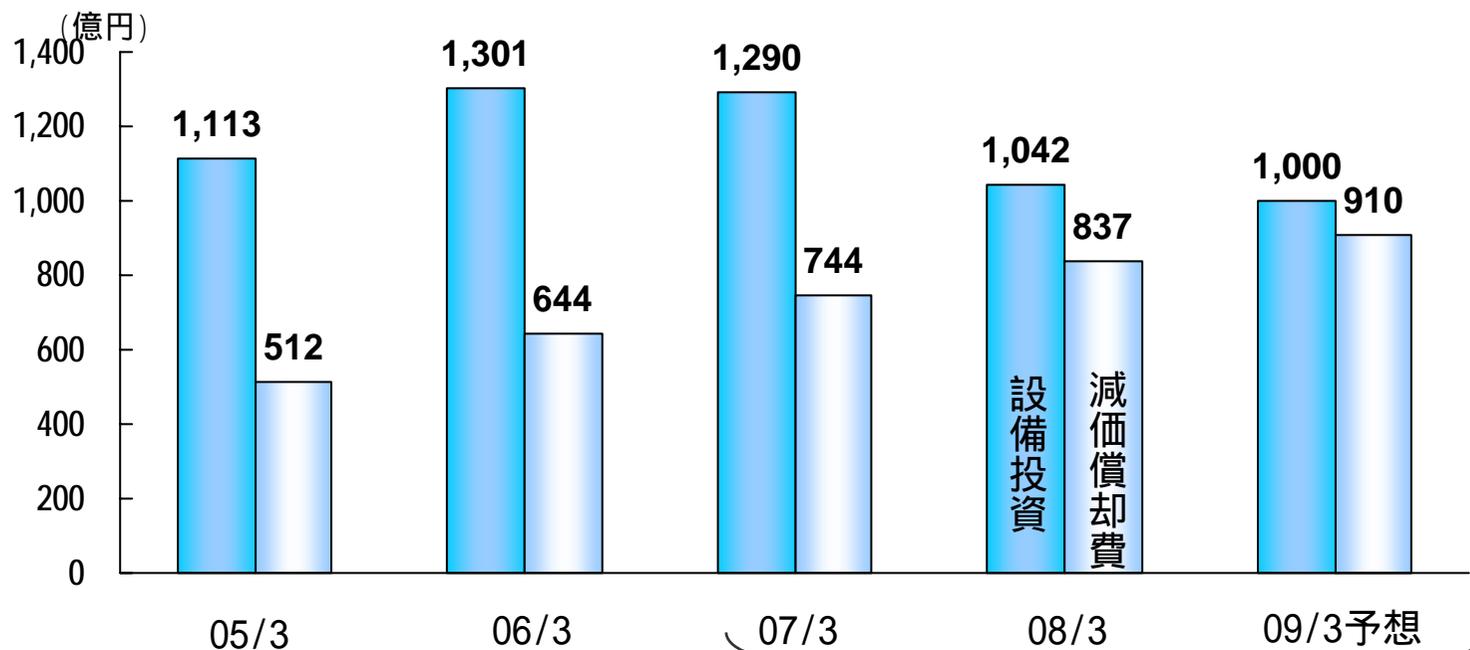
経常利益の増減要因

2009年3月期 通期予想

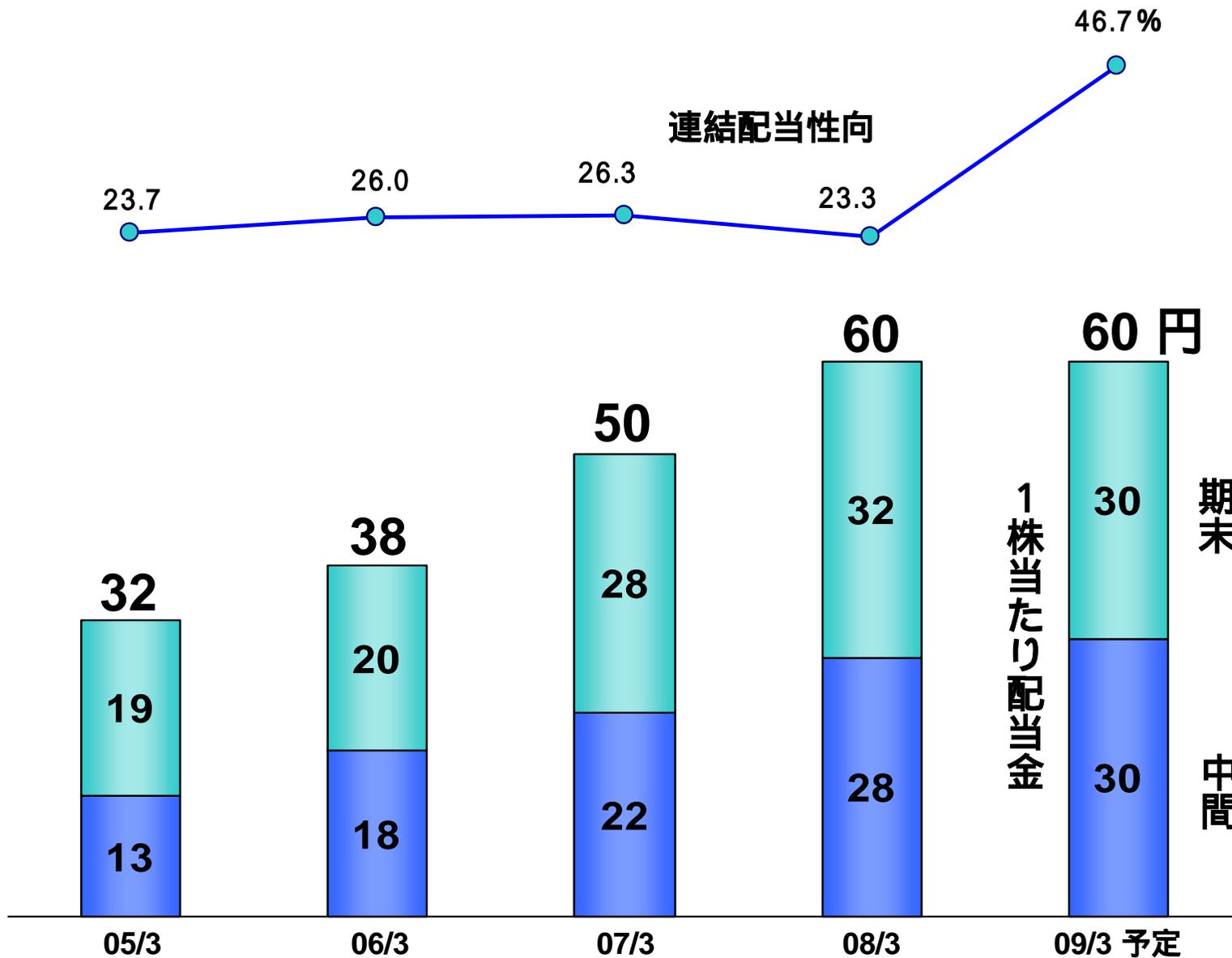
(08/3期と09/3期の比較)



設備投資・減価償却費



1株当たり配当金





将来見通しに関する記述についての注意

このプレゼンテーション資料に記載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。したがって、これらの業績見通しのみで全面的に依拠することは控えてくださいますよう、お願いいたします。

実際の業績は、さまざまなリスクや不確実性により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実性には、当社の事業を取り巻く経済情勢、さまざまな競争圧力、関連法律・法規、為替レートの変動などを含みます。

ただし、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。